

東北地方 1か月予報

(5月31日から6月30日までの天候見通し)

平成15年5月30日
仙台管区気象台発表

<予想される向こう1か月の天候>

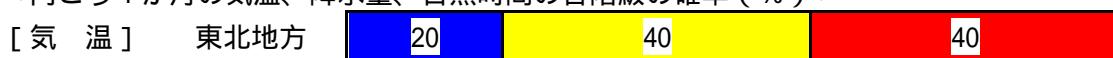
向こう1か月の可能性の大きな天候は以下のとあります。

天気は概ね周期的に変わりますが、期間の中頃から前線やオホーツク海高気圧の影響でぐずつく時期があるでしょう。なお、明日(31日)から明後日(6月1日)にかけ台風第4号の影響で荒れた天気になる見込みです。

向こう1か月の気温は平年並か高い、降水量は平年並が多い、日照時間は平年並でしょう。

週別の気温は、1週目、2週目は平年並か高い、3~4週目は平年並の見込みです。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



 低い(少ない)  平年並  高い(多い)

<気温経過の各階級の確率(%)>



 低い  平年並  高い

<予報の対象期間>

1か月 : 5月31日(土) ~ 6月30日(月)

1週目 : 5月31日(土) ~ 6月 6日(金)

2週目 : 6月 7日(土) ~ 6月13日(金)

3~4週目 : 6月14日(土) ~ 6月27日(金)

<次回発表予定等>

1か月予報:毎週金曜日 14時30分 次回は6月6日

3か月予報:6月25日(水) 14時00分

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間と1週目、2週目、3~4週目の平均気温)

	気温 ()	降水量 (mm)	日照時間 (時間)	気温()		
				1週目	2週目	3~4週目
大船渡	17.2	172.1	157.9	16.0	16.9	17.7
新庄	18.6	134.6	160.7	17.3	18.3	19.2
若松	19.8	116.6	166.1	18.5	19.5	20.3
深浦	17.1	111.1	188.3	15.7	16.6	17.7
青森	16.9	83.9	190.6	15.7	16.5	17.5
むつ	15.6	113.7	172.2	14.4	15.2	16.0
八戸	16.1	101.9	178.1	15.1	15.8	16.6
秋田	18.8	132.1	186.2	17.3	18.3	19.4
盛岡	18.1	116.7	159.1	16.8	17.8	18.6
宮古	16.0	117.7	150.0	15.0	15.7	16.4
酒田	19.3	132.1	184.4	17.9	18.9	19.8
山形	19.5	102.7	162.9	18.4	19.3	19.9
仙台	18.3	139.4	137.3	17.3	18.0	18.7
石巻	17.6	112.6	154.0	16.5	17.2	18.1
福島	19.9	117.7	139.5	19.0	19.7	20.2
白河	18.4	168.4	130.4	17.4	18.1	18.8
小名浜	18.3	150.4	146.3	17.2	17.9	18.7

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971~2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差()	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.5~+0.3	83~110	93~106
東北日本海側	-0.5~+0.2	76~109	95~106
東北太平洋側	-0.5~+0.4	83~108	89~109

(3) この予報期間の1週目、2週目、3~4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3~4週目
東北地方	-0.6~+0.6	-0.6~+0.5	-0.5~+0.2
東北日本海側	-0.6~+0.5	-0.6~+0.4	-0.5~+0.3
東北太平洋側	-0.7~+0.7	-0.7~+0.7	-0.5~+0.3

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温・降水量等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971~2000年の30年間における各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるよう決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 確率は、予報した階級が実際に起こる割合(出現率)を表しています。たとえば、確率60%の予報10例では、そのうちの6回で予報した階級が実際に起こり、4回で起こらないことが想定されます。また、統計的に有意性の高い予測資料が得られた場合には気候的出現率(各階級ともに33%)から大きく隔たった確率(10%や60%、70%など)を付けられますが、有意性が低い場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1より多い(少ない)ことを意味します。

東北地方 1か月予報解説資料

平成15年5月30日 仙台管区気象台

1. 可能性の大きな天候の特徴

向こう1か月(5月31日~6月30日) :

天気は概ね周期的に変わりますが、期間の中頃から前線やオホーツク海高気圧の影響でぐずつく時期があるでしょう。なお、明日(31日)から明後日(6月1日)にかけ台風第4号の影響で荒れた天気となる見込みです。

平均気温は平年並か高いでしょう。

1週目(5月31日~6月6日) :

明日(31日)から明後日(6月1日)にかけて、台風第4号の影響で荒れた天気となる見込みです。地震のため地盤の緩んでいる所もありますので土砂崩れ等に注意して下さい。その後は高気圧に覆われ概ね晴れるでしょう。

平均気温は平年並か高いでしょう。

2週目(6月7日~6月13日) :

天気は概ね周期的に変わりますが、前線や低気圧の影響で一時ぐずつくでしょう。

平均気温は平年並か高いでしょう。

3~4週目(6月14日~6月27日) :

天気は概ね周期的に変わりますが、前線やオホーツク海高気圧の影響でぐずつく時期があるでしょう。

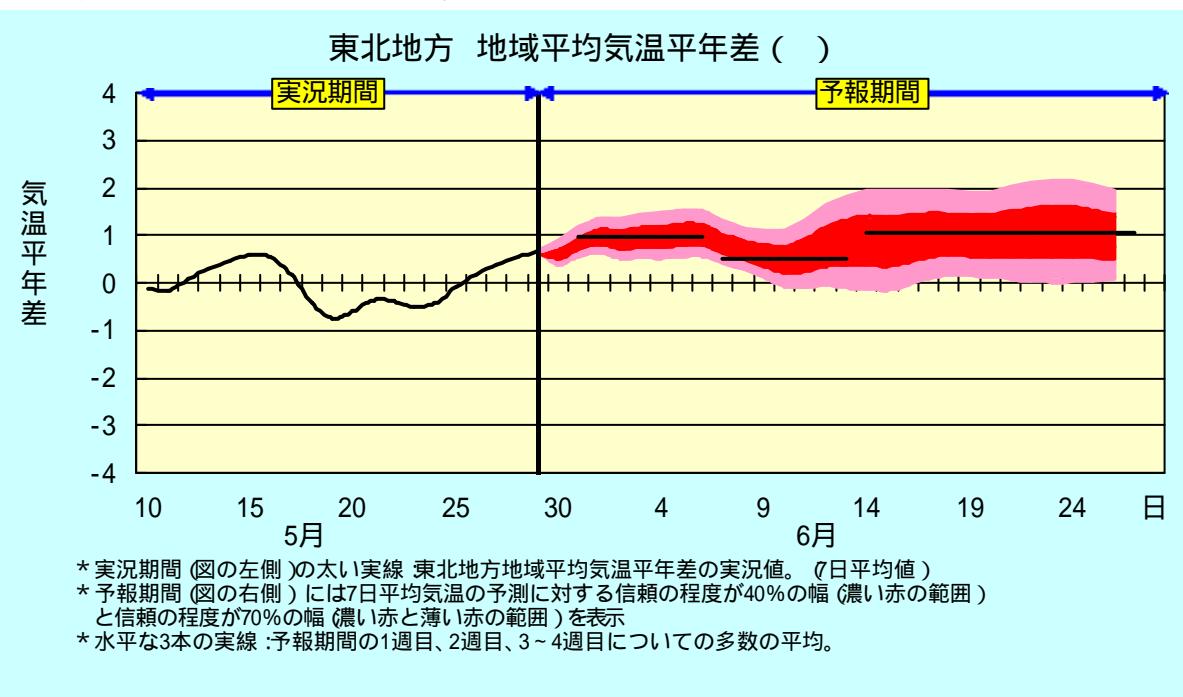
平均気温は平年並でしょう。

平年の晴れ日数

	向こう28日間	1週目	2週目	3~4週目
東北日本海側	13.6日	4.1日	3.5日	6.0日
東北太平洋側	11.8日	3.8日	3.0日	5.0日

2. 東北地方の地域平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別の気温は、1週目「高い」、2週目「平年並」、3~4週目「高い」と予測している。予報は、週間予報資料等から1、2週目を「平年並か高い」、3~4週目「平年並」とする。なお、数値予報の信頼度は大きい。

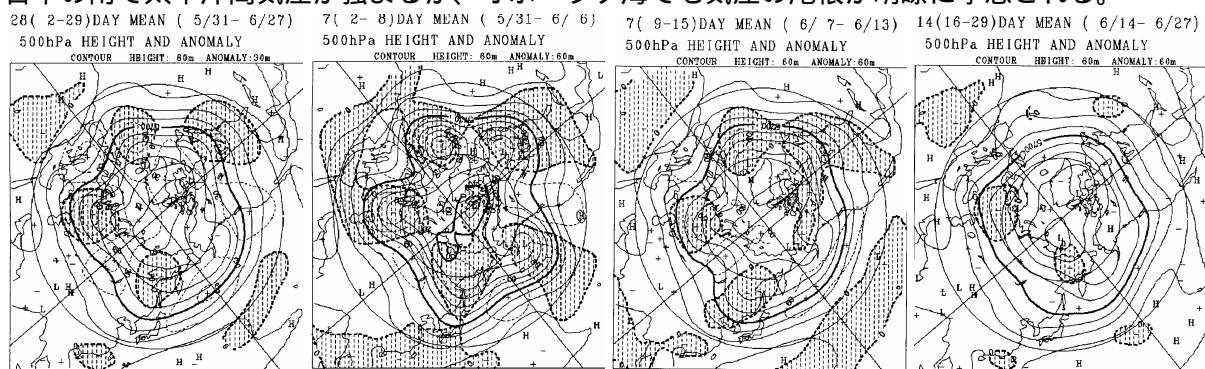


3. 数値予報（アンサンブル平均天気図）による大気の流れの予想

500hPa 高度と偏差：

月平均では、極東域はオホーツク海付近が負偏差となるが、その他は広く正偏差に覆われる。日本の南の太平洋高気圧は平年程度に強い。また、日本の西が谷場（西谷）となっており、前線や低気圧の影響を受けやすい。

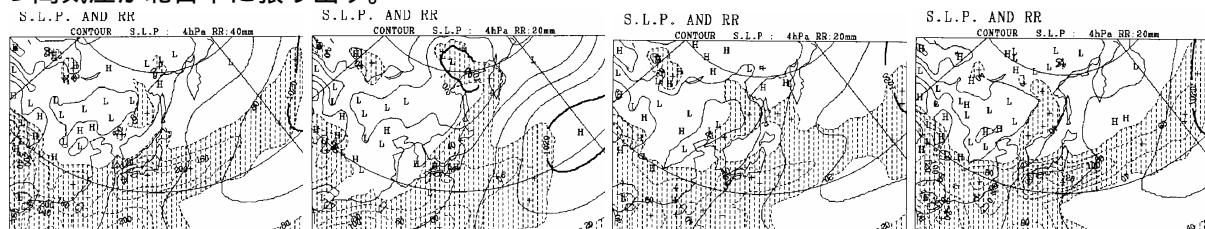
週別に見ると、1週目は日本付近が谷場で、台風第4号に伴う負偏差がかかる。2週目は、沿海州から渤海湾が負偏差となって西谷が強まり、前線や低気圧の影響を受けやすい。3~4週目は、日本の南で太平洋高気圧が強まるが、オホーツク海でも気圧の尾根が明瞭に予想される。



地上気圧と降水量：

月平均では、日本の南岸が低圧部となり、前線に対応するまとまった降水域が予想される。

週別に見ると、1週目は台風第4号に伴う降水域が日本付近に広がる。2週目は、日本の南岸に前線に対応する低圧部や降水域が予想される。3~4週目は、日本の南岸に前線に対応する低圧部が予想され、本州付近にはまとまった降水域がかかる。一方、カムチャツカ半島の南に中心を持つ高気圧が北日本に張り出す。

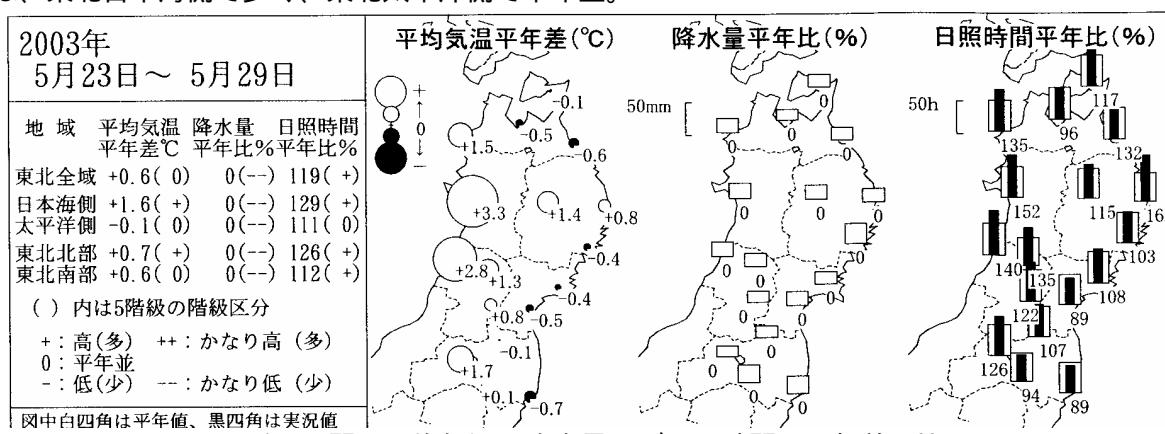


4. 最近1週間（5月23日～5月29日）の天候の経過

期間を通して日本の東海上に中心を持つ高気圧に覆われ概ね晴れたが、東北太平洋側では湿った南東の風の影響で曇りの日があった。

なお、29日は山形、新庄、福島、若松で真夏日を観測した。

平均気温は、東北日本海側で高く、東北太平洋側で平年並。降水量はかなり少ない。日照時間は、東北日本海側で多く、東北太平洋側で平年並。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）